

図書館の電子ジャーナル化事業

京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI



京都大学附属図書館情報管理課
西村暁子

内容

- 機関リポジトリとは
- 京都大学学術情報リポジトリKURENAIの紹介
- 電子ジャーナル化事業について



機関リポジトリとは



機関リポジトリとは

大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理
や発信を行うために、大学がそのコミュニティの
構成員に提供する一連のサービス

(国立情報学研究所学術機関リポジトリ構築連携支援事業のサイトから引用)

<http://www.nii.ac.jp/irp/>



機関リポジトリとは

- DSpace、Eprintsなどの専用のソフトウェアを使用
- 電子情報の登録・公開・管理・検索機能を持つ
- Google等のサーチエンジンからも検索可能
- JAIRO、OAIsterなどのポータルサイトがOAI-PMHによりメタデータをハーベストする
- 情報の発信・管理だけでなく、資料保存という役割もある



日本の機関リポジトリの現状

- 各機関がサーバを立て、コンテンツの登録・公開・検索の機能を持つ専用のソフトウェアを使用して提供している
- 地域で共同のリポジトリを構築するケースもある
- 提供する内容は紀要、学術雑誌掲載論文、学位論文、科学研究費報告書、その他いろいろ



『紀要の電子化とその周辺』

- 2005年7月に開催されたRIMS研究集会
- 京都大学数理解析研究所『講究録』No.1463
<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/47151>
- その当時、日本の大学で機関リポジトリを設けていたのは3大学(北海道大学・杉田氏の発表)



いまや122機関(大学・研究機関・地域共同など)
(国立情報学研究所「IRDBコンテンツ分析システム」の
「分析対象学術機関リポジトリ数」を引用)
<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI



京都大学学術情報リポジトリ KURENAI

京都大学内で生産された電子的な知的生産物
(学術雑誌掲載論文, 学内発行ジャーナル、学位論文, プレプリント, 科学研究費報告書, COE プログラム研究成果, 講義資料・教材, 学会発表資料などの学術情報)を永続的に蓄積し, 誰もが無料で読めるようにWeb上で公開するもの



京都大学学術情報リポジトリ KURENAI

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>



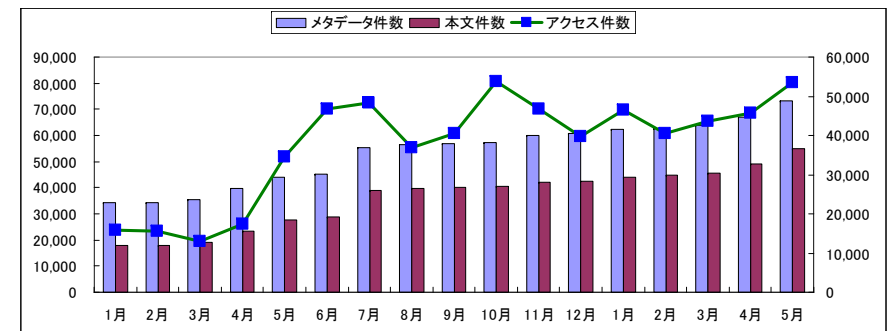
KURENAIの役割

- 京都大学中期目標・中期計画
研究活動の成果を広く社会に還元する
学術情報の公開を通じて、社会に対する説明責任を果たす
- 京都大学図書館機構の基本理念と目標
京都大学が日々創造する世界的に卓越した知的成果の蓄積・発信を行う

➡ 学術情報リポジトリが実現する



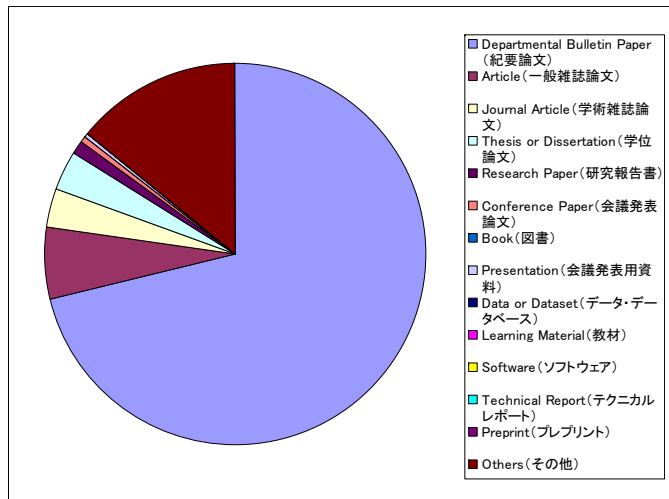
データ件数・アクセス件数(2009年6月現在)



本文件数は2009年3月に30,000件、7月に40,000件を突破



コンテンツの内訳(2009年8月現在)



2008年によく読まれた論文

N o.	論文	アクセス数
1	京都大学・京都精華大学マンガプロジェクト. MANGA Kyoto University. 京都大学広報センター. 2008.	7,751
2	Takahashi K, Tanabe K, Ohnuki M, Narita M, Ichisaka T, Tomoda K, Yamanaka S. Induction of Pluripotent Stem Cells from Adult Human Fibroblasts by Defined Factors. Cell; 2007, 131(5), 861-872.	3,130
3	笠原, 勝幸; 小田, 裕造; 飯田, 寛和; 中村, 孝志. 人工股関節全置換術(THR)術後の股関節脱臼について. 京都大学医療技術短期大学部紀要; 1999, 19(1), 1-9.	2,109
4	小室, 努. 超高強度コンクリートを用いた鉄筋コンクリート柱の圧縮特性に関する研究. 2007, 博士(工学).	2,035
5	Makoto KOBAYASHI, Toshihide MASKAWA. CP-Violation in the Renormalizable Theory of Weak Interaction. Progress of Theoretical Physics; 1973, 49(2), 652-657.	1,983
6	玉木, 彰. 在宅酸素療法と呼吸リハビリテーション. 京都大学医療技術短期大学部紀要. 別冊, 健康人間学; 2004, 16, 24-34.	1,403
7	尾池, 和夫. 地震 (図解雑学). ナツメ社, 2001.	1,266
8	Eu, Seunghun. Porphyrin-and Phthalocyanine-Sensitized Solar Cells. 2008, 博士(工学).	1,228
9	川原村, 敏幸. ミストCVD法とその酸化亜鉛薄膜成長への応用に関する研究. 2008, 博士(工学).	1,084
10	池添, 冬芽. 高齢者の体力づくり (第17回健康科学公開講座4). 京都大学医学部保健学科紀要: 健康科学; 2004, 1, 39-45.	883

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=421>



図書館の電子ジャーナル化事業



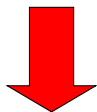
京都大学発行電子ジャーナル

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/index.html>



紀要の流通経路

発行後、大学・研究機関・公共図書館などに
寄贈されるだけのことが多い



商業誌や学会誌と違い、個人での入手が困難



紀要を電子化すると

その研究結果が

- ・必要としている人に届く機会が増える
- ・予想もしないような利用がある
- ・研究成果を社会に還元



KURENAIが電子化をサポート

- バックナンバーの冊子からPDFファイル作成
(OCRソフトをかけて透明テキストも付ける)
サーチエンジンでよりヒットしやすくする
「誰が、何を読んでいるのか—アクセスログに基づく機関リポジトリの利用実態」佐藤翔,2008
<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2008/20081014.html>
- 著作権処理
- サーバの管理
- データの保管



今後の展開

編集段階のサポート

Open Journal Systems

(電子ジャーナル出版ソフトウェア)

応用哲学会 の会誌 *Contemporary and Applied Philosophy* で編集作業中



お知らせ

2009年8月3日

京都大学数理解析研究所「講究録」

新たに749-899巻と1540-1600巻を公開

現在749巻-1600巻まで公開

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/24851>

